

**I 全体評価:概ね順調**

【小項目:全147件】A評価:19件 B評価:127件 C評価:1件

※H29年度【178件】A評価:18件 B評価:155件 C評価:5件

平成30年度の年度計画に対する業務実績は、以下のとおりであり、教育、研究、地域貢献その他の業務について、中期計画の進捗状況が概ね順調であったことから、全体としても概ね順調であったと評価する。  
 また、文部科学省が行った「国内大学のGPAの算定及び活用に係る実態の把握に関する調査研究」において、調査対象国内757大学のうち、特に成果を挙げている7大学(公立大学では唯一の大学)として評価されたことや7年に一度の大学基準協会による外部認証評価において、全11項目の評定項目中、「学生支援」と「社会連携・社会貢献」については最高評定のS評定を受けるなど全体として「適合」判定を受けたことから業務実績は概ね順調であったと評価する。  
 なお、年度計画を十分には実施していない項目については、別紙「平成30年度 業務実績報告書の自己評価に対するチェックシート」のとおり対応を図ることとした。

**II 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置**

**1 教育に関する目標を達成するための措置(P18～P26)**

【大項目評価】年度計画:達成 中期目標の進捗状況:概ね順調

<主な取組>

- ・ 学生に対する本学の教育目標・教育方針の周知徹底やシラバスに基づく適切な授業運営及び成績評価
- ・ 授業評価アンケート実施による教育改善の推進やグローバル化に対応するための海外語学研修や留学の実施
- ・ 教員の指導力向上のためのFD研修の実施、教室内設備の充実等による授業環境の整備
- ・ 入学検定料の減免の実施、オープンキャンパス参加者増加のための無料バスの運行、高校訪問・入学説明会等への参加
- ・ 大学院の魅力向上を検討するための学内プロジェクトチームによる調査・検討
- ・ 奨学金等の情報提供、後援会及び同窓会活動への支援等による学生生活の充実
- ・ 様々な就職支援策を講じることによる高就職率を維持 など

【小項目評価:57件】A評価:3件 B評価:54件 ※H29年度【66件】A評価:3件 B評価:62件 C評価:1件

【A評価項目】

- ◆「授業やゼミ活動等により、アクティブラーニング室の有効活用を図る」(P19)  
アクティブラーニング室において、授業で昨年度(251コマ)を上回る325コマで利用
- ◆「入学定員の見直しを検討する」(P23)  
博士前期課程の入学定員を8名から4名に変更、教員によるプロジェクトチームから大学院改革案の提案
- ◆「県内企業バスツアーの開催や企業の内定を獲得した先輩との懇談会等を開催する」(P25)  
県内バスツアーのコースを増すなどにより、昨年度(延べ108名)を上回る延べ162名が参加

**2 研究に関する目標を達成するための措置(P27～P29)**

【大項目評価】年度計画:達成 中期目標の進捗状況:概ね順調

<主な取組>

- ・ 戦略的研究助成事業の実施、外国人研究者を招へいして研究会を開催するなどグローバルな視点の研究を推進
- ・ 戦略的研究助成事業制度の改正による研究活動の推進
- ・ 公開講座の開講及びケーブルテレビを通じての放送、公開講座の動画を閲覧できる環境(メディアラボ)の整備等による地域還元
- ・ 外部資金の情報提供、長期研修制度の実施、青森市産官学連絡会議など他大学等との連携による研究実施体制の充実
- ・ 長期研修制度の見直し など

【小項目評価11件】A評価:3件 B評価:8件 ※H29年度【16件】A評価:1件 B評価:15件

【A評価項目】

- ◆「研究活動を推進するため、戦略的研究助成事業の見直しを行う」(P27)  
学長が本学の教育研究上有意義と認められるものを対象する「指名型」制度を追加
- ◆「教員の研究成果の地域還元を推進するため、公開講座を実施するとともに、学術リポジトリや論議の公開を行う」(P27)  
ケーブルテレビを通じての放送や公開講座の動画を閲覧できる環境(メディアラボ)の整備
- ◆「教員が参加しやすい教員サバティカル制度を運用し、長期研修を推進する」(P28)  
財源の制限を緩和する等、教員が利用しやすい制度に見直し

**3 地域貢献に関する目標を達成するための措置(P30～P36)**

【大項目評価】年度計画:達成 中期目標の進捗状況:概ね順調

<主な取組>

- ・ 地域貢献に関する研究助成費を教員や地域連携センター研究員に配分し、地域貢献活動を推進
- ・ 新たな自治体との連携協定締結、産業支援機関との連携協定締結、スタートアップラボの開設による創業支援
- ・ 公開講座の実施による研究成果の還元、地域の大学間連携による研究会等の開催、高大連携等による連携強化
- ・ 大学白書の発行、テレビ媒体を活用した大学イメージ映像の放送、CMSを導入したホームページのリニューアル など

【小項目評価35件】A評価:10件 B評価:25件 ※H29年度【41件】A評価:5件 B評価:36件

【A評価項目】

- ◆「教職員が地域の活動に参加しやすい環境及び学生が地域課題や地域貢献に取り組める環境を提供する」(P30)  
地域貢献活動の推進を図るため、地域連携センター研究員へ研究費(地域貢献研究活動等推進費)の配分等
- ◆【再掲】「教員の研究成果の地域還元を推進するため、公開講座を実施するとともに、学術リポジトリや論議の公開を行う」(P30)…「研究」参照
- ◆「地域連携センターの研究・連携事業の充実を図る」(P30)  
地域連携センターの体制や研究活動等を行うスペースの整備、創業・企業活動を支援する「スタートアップラボ」の設置
- ◆「自治体の課題解決をテーマとしたゼミや研究活動等を推進する」(P31)  
ゼミ活動・フィールドワークによる地域課題への積極的な取組、地域PR活動(青森まるっとよりどころ祭り)の開催

<凡 例>小項目評価の項目【公立大学法人青森公立大学事業年度評価実施要領(H22.3.30青森市地方独立行政法人評価委員会)】  
 A評価:年度計画を上回って実施している B評価:年度計画を十分に実施している  
 C評価:年度計画を十分には実施していない D評価:年度計画を実施していない

- ◆「青森地域産学連携懇談会、青森市産官学連絡会議、及び青森地域大学間連携協議会との協定に基づき、各種連携事業を実施する」(P31-32)  
青森市産官学連携会議との連携、新たな連携協定、産業振興を図るための事業運営協力
- ◆「県内の市町村との新たな連携協定締結に向けた調査及び検討を継続する」(P33)  
新たに鱒ヶ沢町と連携協定締結
- ◆「ホームページの充実を図るなど、大学情報を積極的に発信する」(P34)  
大学案内パンフレットの提案プロポーザル実施、天気フィラーの放送、CMS導入によるホームページのリニューアル
- ◆「まちなかラボを活用し地域に向けた大学情報を発信する」(P34)  
大学パンフ、入試案内等の情報冊子等を設置・配付や公開講座の動画を閲覧できる環境(メディアラボ)の整備
- ◆【再掲】「教員の研究成果の地域還元を推進するため、公開講座を実施するとともに、学術リポジトリや論議の公開を行う」(P34)…「研究」参照

**III 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置(P37～P39)**

【大項目評価】年度計画:概ね達成(計画を十分に実施しなかった項目あり) 中期目標の進捗状況:概ね順調

<主な取組>

- ・ 戦略的かつ機動的な運営体制の維持、内部監査の実施による適切かつ透明性のある大学運営
- ・ 大学運営の円滑化・効率化を図るための事務局内の組織の見直し、事務局内の構成及び事務の質・量の検証
- ・ 市の制度の準拠した人事評価の実施
- ・ 公的研究費に係る手続きの簡素化等による事務の効率化
- ・ ホームページのリニューアルによる積極的な広報活動

【小項目評価15件】A評価:1件 B評価:13件 C評価:1件 ※H29年度【14件】A評価:4件 B評価:10件 C評価:2件

【A評価項目】

- ◆「本学の特色や魅力、取組を効果的に発信できるよう、ホームページの充実を図るなど、戦略的な広報活動を実施する」(P38)  
大学案内パンフレットの提案プロポーザル実施、天気フィラーの放送、CMS導入によるホームページのリニューアル

【C評価項目】

- ◇「新たな基準に基づく昇任制度の運用及び教員を対象とする人事評価の試行を行う」(P37)  
教員の人事評価は、教員の理解を得ながら、第2期中期計画期間中の試行の実施に向け検討

**IV 経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置(P40・P41)**

【大項目評価】年度計画:達成 中期目標の進捗状況:概ね順調

<主な取組>

- ・ 外部資金・その他の自己収入の増加に向けた対策の実施
- ・ 積極的な外部資金や助成金の獲得

【小項目評価9件】B評価:9件 ※H29年度【11件】A評価:3件 B評価:8件

**V 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置(P42・P43)**

【大項目評価】年度計画:達成 中期目標の進捗状況:概ね順調

<主な取組>

- ・ 青森市地方独立行政法人評価委員会からの意見への対応
- ・ 本学の財務状況、業務実績等に係る情報等をホームページで公表

【小項目評価5件】A評価:1件 B評価:4件 ※H29年度【9件】B評価:7件 C評価:2件

【A評価項目】

- ◆「7年に一度の認証が義務づけられている外部認証評価において、大学基準協会の審査に適切に対応する」(P42)  
「学生支援」、「社会連携・社会貢献」の2項目でS評定(最高位評定)を受けるなど、全体で「適合」と評価

**VI その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置(P44～P46)**

【大項目評価】年度計画:達成 中期目標の進捗状況:概ね順調

<主な取組>

- ・ まちなかラボに地域連携センターの地域活動拠点としてのサテライト機能を追加、メディアラボの整備
- ・ 国際芸術センター青森において国内外のアーティストを招いた展示会の開催、子どもや市民を対象とした創作体験の実施
- ・ 消防訓練やAED講習会の実施による危機管理体制の強化

【小項目評価15件】A評価:1件 B評価:14件 ※H29年度【19件】A評価:2件 B評価:17件

【A評価項目】

- ◆「サテライト施設の利活用についての検証を継続する」(P44)  
地域連携センターの地域活動拠点機能の追加、メディアラボ機能の追加、市の政策研究のための会議の場の提供